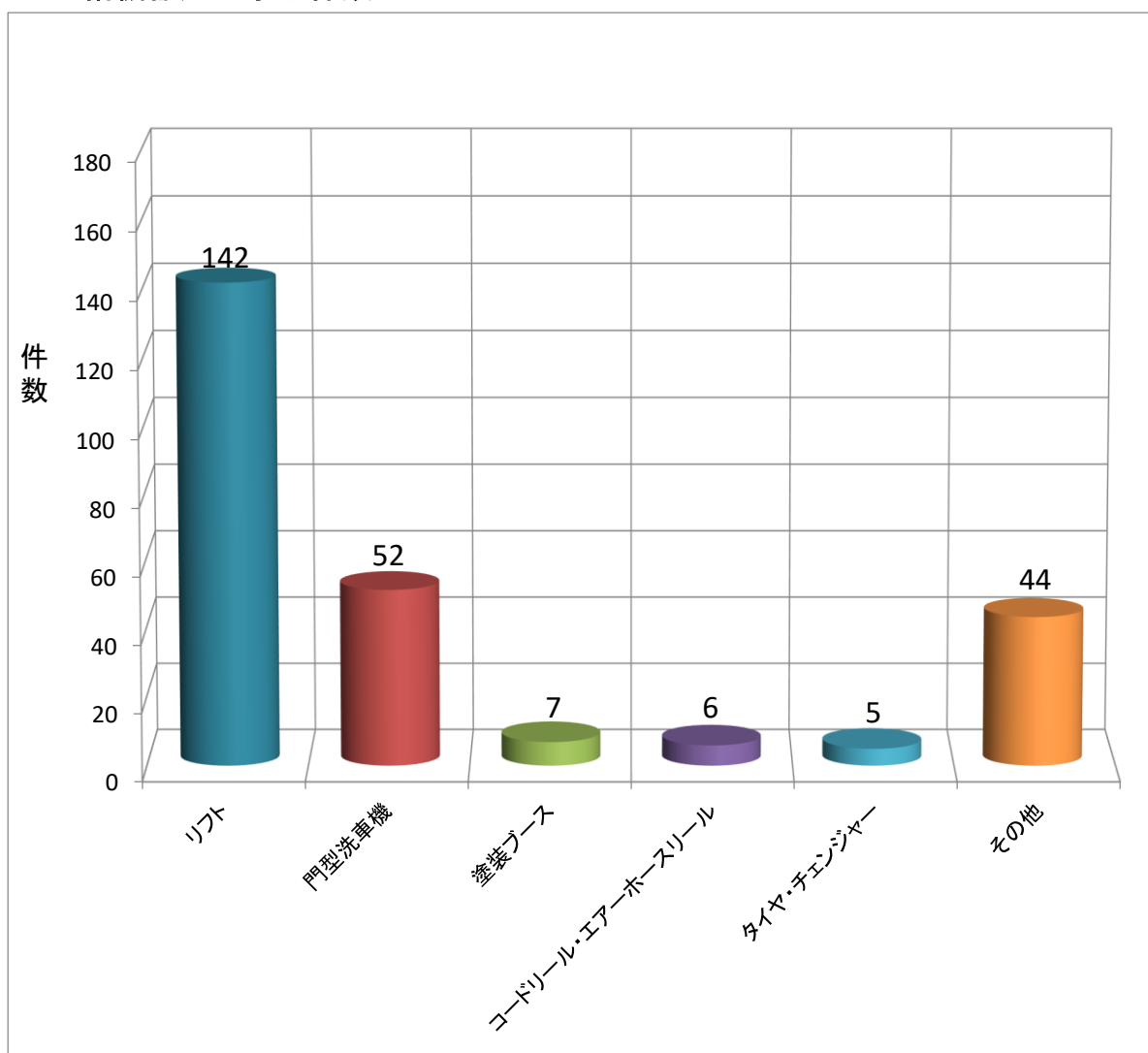


過去10年間(平成27年～令和6年)の事故統計

1. 整備機器別の事故件数



※その他の内訳

事故件数が3件の機器

温水洗車機、スキャンツール、バッテリー用補助電源、部品洗浄機、ブレーキ・テスト

事故件数が2件の機器

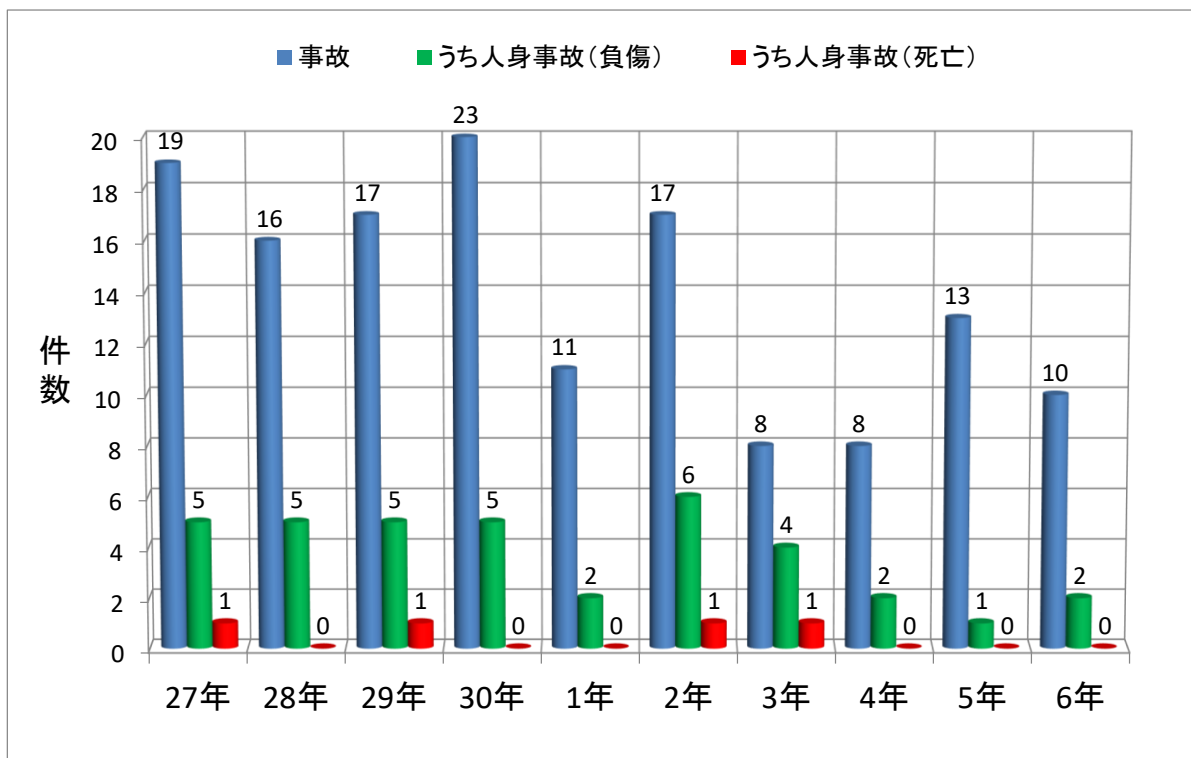
エアインフレーター、エアコンプレッサー、吊り下げ式乾燥ヒーター、ヘッドライトテスト、マルチテスト

事故件数が1件の機器

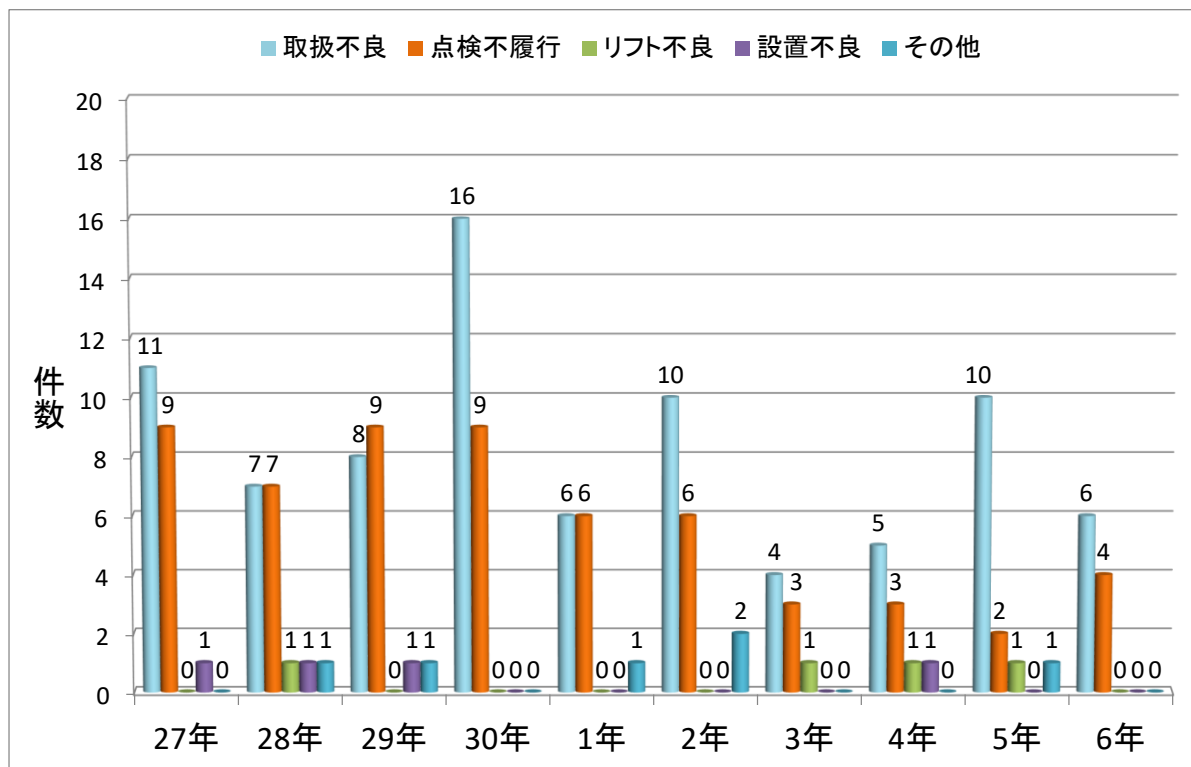
エアインパクトレンチ、LED式投光器、エンジンクレーン、オイルドレン、オイルチェンジャー、オイル用ポンプ、工具キャビネット、集塵機、卓上グラインダー、排気ホースリール、廃油ボイラー、バッテリー用充電器、ピットジャッキ、ブレーキオイルチェンジャー、フロンガス充填装置、ベアリング給脂機、ホイールバルancer、油圧プレス、油圧ジャッキ

2. リフトの事故

2-1. 事故件数及び人身事故件数の推移



2-2. 事故原因の推移



※1件の事故に複数の原因がある場合は、重複して計上しています。

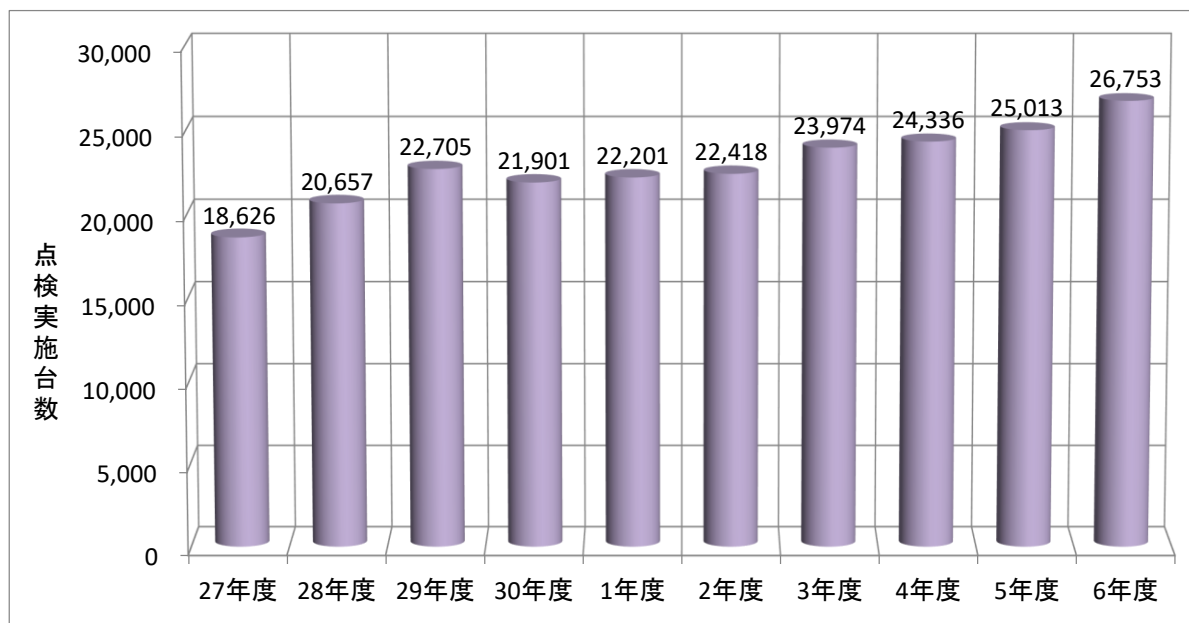
2-3. リフト事故の傾向

リフトの事故は、他の整備機器に比べて発生件数が多く、死亡事故や骨折など重大な事故につながるケースも見られます。なお、事故原因の約9割は、取扱不良と点検不履行によるものです。

2-4. リフトの事故を防止するために

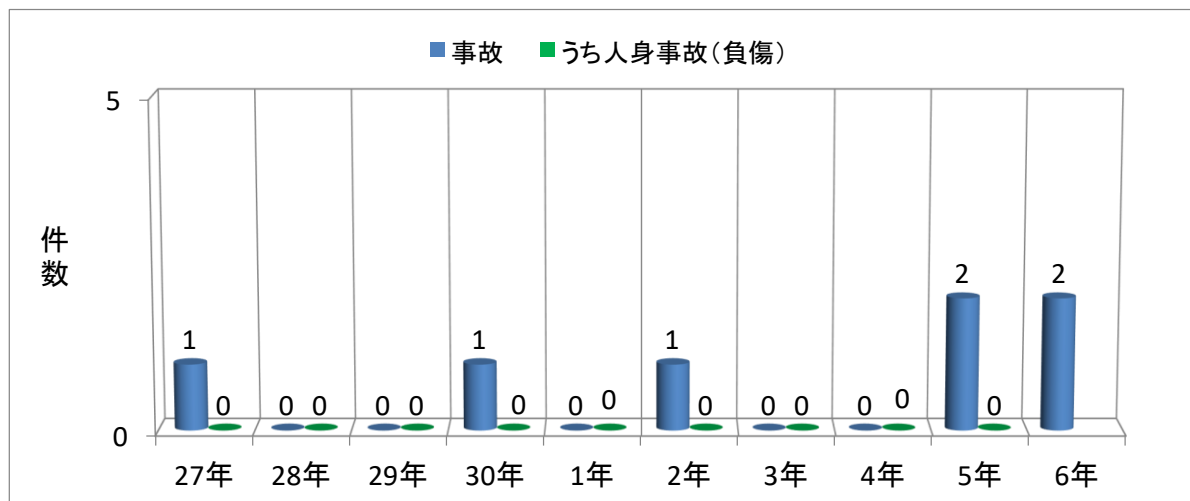
扱不良と点検不履行による事故が多いことから、正しい使用方法の啓発や、リフトの日常点検、そして点検資格者による定期点検と整備を徹底し、事故防止対策を推進する必要があります。

【参考】点検資格者による点検実施台数の推移



3. 塗装ブース

3-1. 事故件数及び人身事故件数の推移

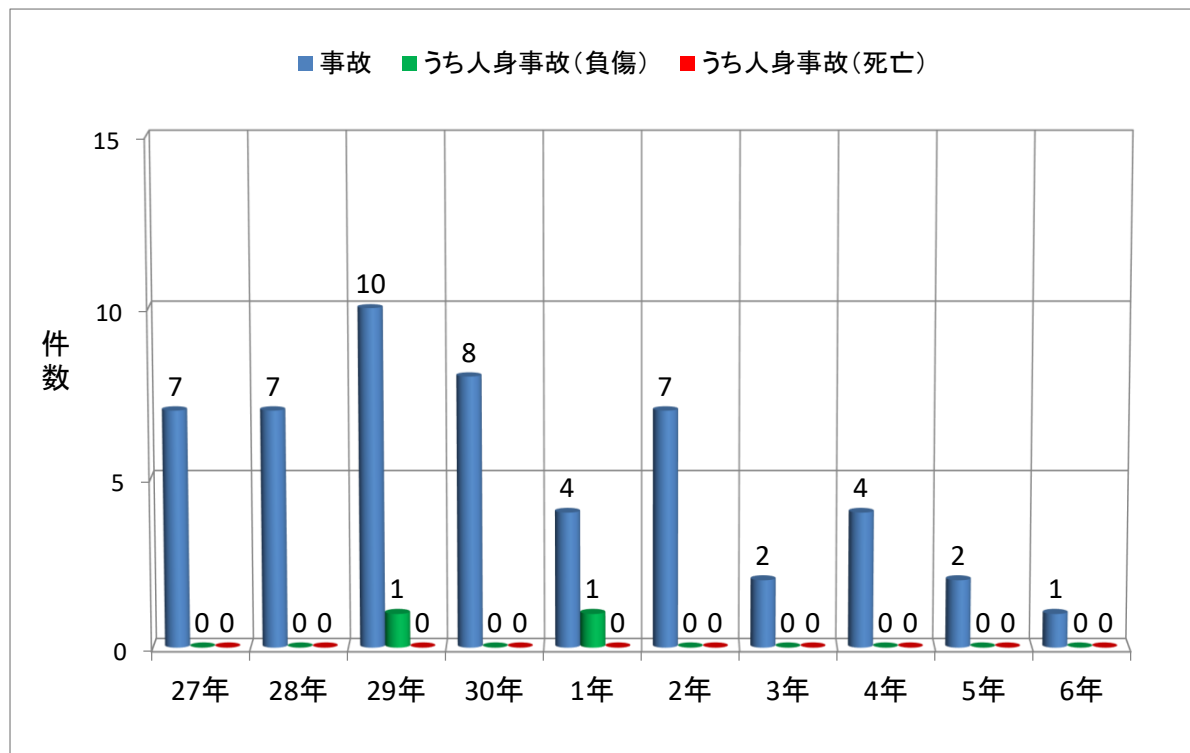


3-2. 塗装ブースの事故の傾向

塗装ブースによる事故は、堆積したミストやフィルターへの引火による火災が発生しています。主な事故原因は、点検不履行や取扱不良によるものが多く発生しています。

4. 門型洗車機

4-1. 事故件数及び人身事故件数の推移

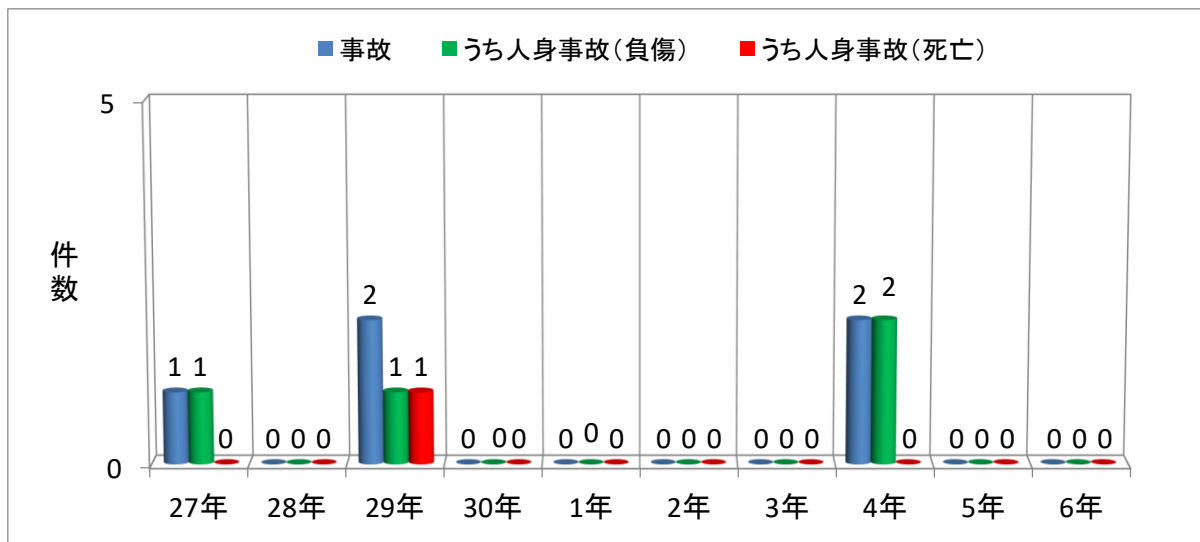


4-2. 門型洗車機の事故の傾向

門型洗車機を設置する整備工場が増加しており、それに伴い事故件数も増えています。主な事故原因は、車種やオプション品の選択ミス、点検不履行、そして車両ドアの自動開閉機能の誤作動によるものが多く発生しています。

5. タイヤチェンジャー

5-1. 事故件数及び人身事故件数の推移



5-2. タイヤチェンジャーの事故の傾向

タイヤチェンジャーによる事故は、取り扱い方法の誤りによるものが多く発生しており、特に、人身事故につながるケースが多いのが特徴です。

6. その他の機器（温水洗浄機）

温水洗浄機では、設置不良による事故が多く発生してることから、使用前には水漏れ等が発生していないか確認しましょう。

7. 事故を防止するために

各機器とも、正しい使用方法の啓発と保守点検や定期点検を確実に行うことにより事故防止対策を推進していく必要があります。